

第6期 事業計画書

令和4年10月1日から令和5年9月30日まで

NP0 法人 あったかいねっと

1 事業実施の方針

NP0設立から4年と半年経過しました。今期も引き続き企業体としての体制を整え強化出来るよう努め、長期計画を策定し、認定NP0取得を目指し準備を進めます。

デイサービス事業の質の向上のためスタッフを増員育成し、より個別ケアに力を入れ、高齢者の方には機能訓練などの充実化を図り、障がい者の方には支援の柱となるよう生産活動の基盤づくりを今期は行います。

現在、介護保険の利用者様の高齢化・重症化、障がい利用者様の状態改善安定、生活介護から就労への移行課題もあり、今後も継続的に支援するため「就労支援事業所」「相談支援事業所」「グループホーム」「お泊りデイ・ショートステイ」などの事業案を第6期・第7期で研究し、第8期からの実現を目指します。

前期は、一昨年に実施した支援ハウス事業をサロン活動の中を含め、コロナ感染症予防に努め自粛しつつ活動を行ってまいりましたが、現在は県及び市の人的交流の制限も緩やかになってきたことから、今期は対象者を限定せず、広くボランティアや参加者を募集しながら拡大実施を目指し（行動制限に準じて変更有）、地域共生社会を担う人材育成事業も再開します。

ご縁のあった方お一人お一人の、生と死・笑顔を支えるために、地域食堂（子ども食堂のみならずおひとり様食堂含む）や地域に開いたフリースペース、今はまだないサービス等サロン活動の中で試行し、地域共生型拠点の浜田モデルを全国に発信していきます。

① 共生型デイサービス事業について（5年目）

ア. 目の前の笑顔のために、個々その人らしく安心して楽しく過ごしていただけるよう状態に合わせ必要な介護など引き続き

質を高めながら提供します。

それぞれの得意を引き出した活動を行い、心身の機能維持に努め支援します。そして、大きな家族として互いを大切に自助互助敬助の関りを重ねます。

イ．現在、ほぼ毎日定員15名の利用予約者がありますが、コロナ感染症の影響もあり、前年度の利用キャンセルが全体の約1割にも達しました。休まないための健康管理や感染予防教育、生きがいや楽しみとなるデイサービスの活動とケアの質を高め、より満足し個々から求められ、休まずに通所できるデイサービスになるよう三方よしの事業所を目指します。

そのためにも、利用者アンケート結果の分析や職員研修を積極的に実施しサービスの質の向上を図ります。

ウ．「介護家族の集い」がコロナ感染症のため2年以上実施できていないため、今後の感染状況を勘案し企画実施します。

エ．利用者の増加に伴い、快適に過ごしていただく上で冬季廊下が冷たく、建物が手狭と感ずることも増え、建物一部のリフォームを順次検討対応します。

② 共生型交流サロン活動について

ア．定例会・イベント

生きづらさを抱える方々や引きこもり等の居場所としての支援ハウスでの活動を継続実施しつつ、コロナの情勢を見ながら定例会(月1回)の他、イベント企画周知も行い、新たに広くボランティアや参加者を募集し活動を広げていきます。

イ．人材育成事業

当時から力を入れてきた人材育成事業はコロナ渦で低迷しましたが、共生社会を担う人材を育てるため、専門職(共生型デイサービスでの職員研修等)や学生の共生型ボランティア体験を受け入れます。又勉強会など学ぶ機会を提供します。

ウ．カフェ・フリースペース・工房（※）

一昨年行った支援ハウスの取り組みや昨年細々と続けたサロン活動の中からも、食の支援が必須と考え、設立当初より事業案として持っていた「おひとり様食堂」（子ども食堂の構想に対象者を生きづらさを抱える方、生活困窮者や地域の中の孤食者を含んだ形）への取り組みと「デイサービスの利用者への昼食サービス」を合わせた形で、地域食堂「ときドキ・カフェ」を令和5年試行開始します。

食堂を活用し、集まった方々で作業として「もの作り」を行い、物販収入に結び付くよう支援し、地域食堂資金や食事券に還元します。

支援ハウスの空いている部屋を、地域の中の生きづらさを抱える方のフォローや共生社会に関わる活動を行っている団体や個人に貸し出し、共にあたたかなまちづくりを行っていきます。

オ．ファーム（※）

あったかいいねっとの行う事業を支える柱として整備してきており、農作物の栽培作業収穫を通じ「命を感じる活動」として開き、更に生産性をあげ、あったかファーム市場を定期的に対外的にも周知を試み実施します。

カ．目の前の笑顔のために

内容は定めず、その時々必要性によって自由に動ける活動。必要だが「まだない」サービス・支援・活動を行っていきます。

（※）については、今期において物販を試行するための試行事業とする。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定の日時 場所、従事者 の予定人数	受益対象者の 範囲 及び予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
デイサービス事業				
共生型デイ サービスお 天気いいね	介護保険、障害 福祉サービス 事業のデイサ ービス	月水金 9:00～16:55 火木土 10:00～16:55	要支援 1・2 要介護 1～5 区分2～6 定員1日 15名	収益： 41,982 費用： 35,855
※拠点整備・カフェ・ファーム事業				
活動拠点整 備事業1 ①支援ハウ スの床貼り 事業（2階） ②厨房設備 許可取得上 必要な備品 消耗品等	①支援ハウス の活動スペー スを使いやす いように整備 する。 ②食堂営業許 可の取得	支援ハウス 2階 厨房 令和5年2月末ま で ボランティアな ど延べ6名程度	支援ハウス利 用者（スタッ フ、生きづら さを抱えた人 、ボランティ ア、地域の人 ）	設備費用： 300
カフェ・フリ ースペース 事業、物品販 売	地域食堂（子ど も食堂・デイ食 堂含む） ・フリースペー ス貸出	支援ハウス 令和5年食堂春 オープン予定 和室・希望者に 随時	デイ利用者・ 生活困窮者・ 孤食の人・子 ども・地域の 人	収益： 1,210 費用： 1,200
ファーム 畑で命の循 環を学ぶ活 動	畑作業、収穫、 調理、販売など	畑 随時 浜田市熱田町11 92-2 スタッフ2名	生きづらさを 抱えている人	収益： 24 費用： 20
拠点整備・カフェ・ファーム事業			小計	収益：1,234 費用：1,520

※今期は、物販部門を試行するための準備事業とする				
サロン活動				
共生型交流 サロン定例 会 イベント	地域の障がい の有無、年齢に 関係なく参加 できる活動 引きこもり等 居場所づくり	毎月1回第3土曜 日午前中（10時 ～12時） 浜田市熱田町11 29-1スタッフ2 名	生きづらさを 抱える人 各回5名程度	費用： 100
人材育成事 業	共生型人材育 成・勉強会・茶 話会等	年3回実施（2月・ 5月・8月）	地域共生社会 に興味ある方	費用： 20
目の前の笑 顔のために 事業	随時	随時。必要な場 所	生きづらさを 抱えている人	費用： 30
サロン活動			小計	費用： 150
法人活動			合計	収益： 43,567
※助成金、寄付金などについては記載なし				費用： 40,774

※詳細については第6期活動予算書参照